

第 431 回: 習近平新時代中国特特色社会主義思想

最近中国を語るキーワードとして「新時代」なる新語を新聞や雑誌で見かける機会が増えている。

こんな新語をこよなく愛するのが相場の予測をたつきとする業界人。「次世代製造強国」、「深圳の破壊的イノベーション」等、言語明瞭・意味不明瞭な用語を深い考えもなく素直に多用するところが、いとすさまじ。

これ世界的傾向らしく、そんな言葉をバズワード(buzzword)と呼ぶ。もっともらしく聞こえるが、実は定義や意味が曖昧な言葉を指し、己の不勉強をカバーする権威付けツールとして「フィンテック・エコシステム」、「AIを応用した解析ソリューション」等のバズワードを欣喜雀躍と使用する御仁が増えていると云うわけ。

マクラが長くなったが、「中国の新時代」を指導する中国の習近平さんにとって、今年が良い年であったに違いない。2012年に船出した中国共産党の習近平体制は無事5年の任期を終え、10月に開催された中共第19回大会で第2期習近平体制が発足した。

掲題の「習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想」が党規約に盛り込まれた点は、習近平政権の政権基盤が固まったことを証明する大きな成果であった。

約2万の漢字で構成される党規約「中国共産党章程」の構成は、総則、第一章: 党員、第二章: 党の組織制度、第三章: 党の中央組織・(中略)、第七章: 党の規律、第八章: 党の規律検査機関・(中略)、第十一章: 党の徽章と党旗、から構成されているが、最も重要なのは総則だ。

総則が規定する共産党員の「行動指針」は、これまで社会主義の先達である①マルクス、②レーニン、③毛沢東、④鄧小平、⑤江沢民、⑥胡錦濤に敬意を表し、【マルクスレーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論、「三つの代表」の重要思想、科学的発展観】とあったのが、今回それに、「習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想」という、いわゆる「習近平思想」なるものが追加された。

まずこれ、やたら長い名称であることが目を引く。まるで多磨霊園の「元帥海軍大将正三位大勲位功一級山本五十六墓」と一緒である。

この「習近平思想」の党規約入りをどう評価するか？ まず毛・鄧・江・胡の四氏の思想は、かれらの死後ないしは引退後に規約入りした。習近平氏はバリバリの現役だ。

「三つの代表」と「科学的発展観」には、提唱者の名前が抜けている。名がついているのは毛沢東思想と鄧小平理論だけであり、これで習近平は江沢民・胡錦濤を追い抜き、毛・鄧に並んだことになる。

しかも共産主義の世界では、「思想」の方が「理論」よりも格上であることから、習近平は「鄧小平理論」の鄧小平を追い抜き、毛沢東に並んだという考えも成り立つ。

ここまでは習近平さんにとって万々歳だ。しかしここでチョット腑に落ちない点が二つある。

もし習近平さんが毛沢東主席並みに偉大な思想家であれば、シンプルに「習近平思想」とすればよいのに、なぜ舌を噛み切りそうに長い「習近平新時代中国特特色社会主義思想」としたのか。

もうひとつは「習近平新時代」の意味するところが、よくわからないことだ。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

結論から云えば長い思想名となったのは政治的妥協の産物だろう。演説集は出版されているが、著作が一篇もない習氏の考え方を「思想」と位置付けて良いものか、党内でも様々な意見があり、然は然り乍ら、周到な根回しが済んでいる重要案件を、党大会で無下に却下するわけにもいかず、そこで党内の智慧者が「ここは『新しい時代をユニークな社会主義路線で指導する習近平主席の思想』でどうでっしゃろ！」と提議し、双方歩み寄ったということか。現役指導者にも拘らず党規約入りに成功したことだけ見れば、習近平さんは大満足だが、あいまいな思想名に終わってしまったことは不本意に違いない。

次に「新時代」の意味するところだが、これは今年に入り国営メディアが盛んに流しているプロパガンダと平仄を併せたものだ。人民日報は建国以来の中国の発展段階を三つの時代に総括している。

中国語の表現を用いると、毛沢東は中国を「站起来(＝立ち上げた)」、鄧小平は中国を「富起来(＝豊かにした)」、そして習近平は中国を「強起来(＝強国にした)」と。

でも、これって牽強附会、極めて乱暴な区分けでは？毛沢東が中国を立ち上げたのは良いとしよう。次に鄧小平が「中国を豊かにした」のも、中国を世界の最貧国から、もうちょっとで先進国に手が届くところまで引き上げたという意味では理解できる。でも中国を豊かにした功績は江沢民にも胡錦濤にもある。ここで、自分がBIG3入りしたいがために、江・胡の二人をバツサリ切り捨てるのはチョット乱暴では。

更にいえば習さんの「強国」とは 2035 年までに「社会主義現代化を基本的の実現し」、50 年までに「中国を社会主義現代化強国にする」という遠大なる目標だ。

第一時代は歴史的事実、第二時代は評価が固まりつつあるが現在進行形、一方、習近平の第三時代は目標・願望。これが「中国の新時代」の正体だ。

国営メディアは奇妙なことに中国の発展段階を過去形・現在形・未来形を混在させた形で規定しており、「富国」時代は未だ終わっていないのに、早くも「強兵」時代にギアチェンジしたということか。でも富国が先に実現し、然る後に強兵が実現するというのは、歴史の方向性と真逆ではないだろうか。

因みに党規約に登場する人名は江沢民と胡錦濤が各一か所のみ。これに比べ習近平は 11 か所も登場するが、鄧小平は 12 か所、毛沢東は 13 か所。党内の見えざる手がしっかりバランスを取ったようだ。

党規約入りは習氏にとって大成功。でも①曖昧で長～い思想名、②党主席復活に失敗、③腹心王岐山の留任に失敗・・・習近平主席にとって今年は権力拡大の陰で、ちょっと不本意な一年でもあった。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年12月28日・・・わが誕生日に記す

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

